



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
令和4年度 11月号

「三人のレンガ職人」

校長 浅野 謙一

外国に伝わる「三人のレンガ職人」の話を紹介します。

ある時旅人が、建築現場で汗を流しながら作業している三人の職人に出会いました。旅人はそれぞれの職人に「何をしているのか」と質問しました。

すると三人の職人は、それぞれ次のように答えました。

一人目の職人は「レンガを積んでいます」と答えました。

二人目の職人は「壁を造っています」と答えました。

三人目の職人は「大聖堂を造っています。それは神を讃えるためにです」と答えました。

三人とも「レンガを積む」という仕事をしているのに「何をしているのか」という質問に対する答えが異なっています。一人目の職人は「レンガを積んでいる」という行為そのものを答えたのですが、二人目の職人は「壁を造っている」というレンガを積むことの目的を答えました。そして三人目の職人は、まず「大聖堂を造っている」という壁を造る目的を答え、同時に「神を讃えるために」という大聖堂を造ることの目的も付け加えています。つまり、この寓話から読み取れる教訓は「自分がしている仕事は、自分の幸福や自分のこれからの人生にどうつながるかを考えてすることが大切である」ということです。



では、この話を中学生に置き換えてみましょう。机に向かって勉強をしている中学生に出会いました。その中学生に「何をしているのか」と質問しました。さて、あなたがその中学生ならどのように答えますか。「漢字を何回も書いています」でしょうか。「テストでいい点をとるために練習問題をやっています」でしょうか。ほとんどの人がこのように答え、なかなか自分の将来の人生につながることを目的に勉強をしていると答える人はいないかもしれません。

しかし、これからは社会の様々な領域で激しい変化が加速度的に進む時代になっていきます。そして、そんな時代を生き抜いていくために「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の学習を進めていくことが大切になってきます。つまり、義務教育の総決算となる中学校において大切なのは、「〇〇高校に入学する」ことを目的とするのではなく、「〇〇高校で〇〇を学びたい」「〇〇を学んで将来〇〇をしたい」ということを目的とすることです。

目的もなくただ漠然と学習するのではなく、自分がしている学習が、自分の幸福やこれからの自分の人生にどうつながるかを一度考えてみてください。

文化発表会がありました♪



10月26日（水）に文化発表会がありました。本年度は、全学年がそろっての開催となり、全てのクラスが互いの合唱を聴くことができました。1年生は、中学校での初めての合唱に戸惑いながらも、一生懸命に歌う姿が見られました。2年生は、昨年度の経験を活かし、クラスで一致団結して素晴らしい合唱を聴かせてくれました。そして、3年生。聴く者を圧倒する迫力の合唱で、聴いていた1・2年生、職員も口々に素晴らしさを讃えていました。卒業していく先輩として、後輩たちに最高のバトンを渡せたと思います。来年度以降の合唱が楽しみです。

当日の様子を撮影した動画を視聴していただけるようになりました（令和5年1月末まで）。準備が遅くなり、申し訳ありません。H&SにてURLをお知らせしますので、ぜひご覧ください。なお、個人情報保護の観点から、URLを関係者以外には伝えないようにお願いします。

	曲名		曲名		曲名
1 A	カリブ夢の旅	2 A	輝くために	3 A	ヒカリ
1 B	僕らの奇跡	2 B	時の旅人	3 B	海の不思議
1 C	ハートのアンテナ	2 C	COSMOS	3 C	君とみた海
1 D	マイバラード	2 D	キミのもとへ…	3 D	あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～
1 E	My Own Road～僕が創る明日～	2 E	HEIWAの鐘	3 E	忘れることなんかできない
1 F	変わらないもの	2 F	心の瞳	3 F	予感
1 G	空は今	2 G	時を越えて	3 G	信じる
1 H	永遠のキャンパス			3 H	青葉の歌

全体合唱曲：「今日は君のB i r t h d a y」